資料２

平成２９年度長久手市市内一斉防災訓練の結果について

**１　訓練方針**

　　市内で、震度6強の地震が発生したとの想定の下、会場（小学校）ごとに住民が主体と

なり防災関係団体、市職員が協力し一斉に訓練を実施する。

　　○　今年度の重点項目

⑴　要配慮者への対応

⑵　学校との連携

⑶　実際に発災したことを想定した訓練の拡充

**２　防災訓練開催日時**

　　平成29年11月19日（日）　9時00分から10時30分

　　（会場によっては11時00分までのところあり）

**３　訓練会場**

　　市内６小学校（長小、西小、東小、北小、南小、市が洞小）

**４　参加者数**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校名 | 　今　年 | 昨　年 | 増　減 |
| 長　小 | ８２４人 | ８３３人 | －　　９ |
| 西　小 | ６３９人 | ４７９人 | ＋１６０ |
| 東　小 | ２９６人 | ５１１人 | －２１５ |
| 北　小 | ４９９人 | ２７７人 | ＋２２２ |
| 南　小 | ５５７人 | ６６６人 | －１０９ |
| 市が洞小 | ４６５人 | ３７７人 | ＋　８８ |
| 合　計 | ３，２８０人 | ３，１４３人 | ＋１３７ |
| 参加団体 | ４７８人 | ４６４人 | ＋　１４ |
| 職　員 | １３５人 | ２０１人 | －　６６ |
| 総　計 | ３，８９３人 | ３，８０８人 | ＋　８５ |

**５　重点項目の実施状況**

⑴　要配慮者への対応

ア　避難行動要支援者の安否確認については、これまで民生委員児童委員のみで実施していたが、今回一部の小学校校区で地域と連携して安否確認を行うことができた。来年の防災訓練では地域と連携して安否確認を行う地域を増やしていきたい。

イ　外国人への対応については、愛知県立大学による「外国人が不安を感じない避難所づくりを考える」ブースを２つの小学校で出展していただいた。

ウ　乳幼児への対応については、保育園の職員が避難所保育園を２つの小学校で開設し好評であった。

⑵　学校との連携

　　学校防災に関するパネル展示を市ヶ洞小学校が行った。

⑶　実際に発災したことを想定した訓練の拡充

　　　消火訓練、家具の転倒防止、ＡＥＤ、炊き出し訓練に加え、新たに高層マンションが停電したことを想定訓練、車いす体験などを行った。

**６　検証会での意見**

　⑴　全般的には自治会連合会等、参加関係機関が積極的に防災訓練に取り組んでいただき多くの成果を得ることができた。

⑵　訓練当日、それぞれの小学校で訓練メニュー等を記載したチラシがあると分かりやすい。

⑶　訓練の参加者に２０代から４０代の方が少ないため、子どもが参加したくなるような訓練メニューを考えてはどうか。

⑷　防災訓練は共助を中心とした訓練であるが、まずは自助についての啓発が必要

⑸　今年度高校生が初めて参加したが、今後も継続して参加するようにしてもらいたい。

**７　来年度の防災訓練の日時**

　　平成30年11月18日（日）